地球温暖化対策

基本的な考え方

地球温暖化対策は、東邦ガスグループにおける重要な経営 課題の一つです。エネルギー事業者として、お客さま先を含 めた地球温暖化対策に取り組んでいます。

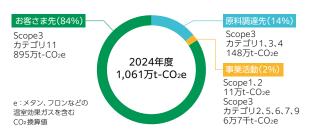
自社のCO2排出原単位の削減はもとより、お客さま先での CO2排出抑制に向けて環境行動目標を設定し、環境性に優れ たエネルギーの供給や、他燃料からの天然ガス・LPGへの燃 料転換、燃料電池などの高度・高効率利用機器の普及促進を 行っています。また、地域と連携した再生可能エネルギー活用 などの推進、メタネーションやCO2回収・活用・貯留をはじめと する技術開発・実証など幅広い取り組みを推進し、2050年の カーボンニュートラル実現に挑戦します。

バリューチェーンの環境負荷

バリューチェーン全体では、都市ガス・LPG・電力の製造・供給 などの「事業活動」のほか、「原料調達先」や「お客さま先」の各段階 で、CO2などの温室効果ガスの排出をはじめとする環境負荷が発 生します。

ガス事業においては、温室効果ガス排出量の多くは「お客さま 先」が占めることから、当社グループではその抑制に取り組んでい

バリューチェーンの温室効果ガス排出量



ます。また、「原料調達先」に関しては温室効果ガス排出状況を把 握し、環境への負荷を評価しています。「事業活動」に関しても、エ ネルギー利用効率化、省エネなどによる温室効果ガス排出量の抑 制に努めています。

お客さま先における地球温暖化対策

事業活動を通じたCO2削減貢献量を目標に掲げて取り組みを 進めています。

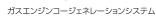
天然ガスへの転換

天然ガスは、燃焼時におけるCO2およびNOxの排出量が化石 燃料の中で少なく、SOxも発生しない環境性に優れたエネルギー です。お客さま先で使用されている燃料を、石油などから天然ガ スへ転換し、温室効果ガスや大気汚染物質の排出抑制に貢献して います。

高効率ガス機器・システムの普及

燃料転換と合わせて、お客さま先の設備に高性能なバーナなど を導入することで、CO₂排出量のさらなる抑制につなげています。







貫流ボイラ

また、一般家庭向けには家庭用燃料電池システム「エネファー ム」、業務用にはガスコージェネレーションシステム、高効率ボイ ラ、ガスヒートポンプ(GHP)空調など、エネルギー利用効率の 高い機器・システムの普及を進めています。

●事業活動でのCO₂削減

エネルギー事業者として事業活動のあらゆる場面で省エネに 配慮した取り組みを推進しています。

各事業分野にて省エネ設備投資の推進や運用管理の徹底を 図っています。

● 都市ガス工場における取り組み

都市ガス工場では、マイナス160℃程度のLNG(液化天然ガス) を海水と熱交換することで気化させてガスを製造しており、製造 時のエネルギー効率が極めて高い製造方法を採用しています。

また、LNGの持つ冷熱エネルギーを、冷熱発電や隣接する工場 でのドライアイス・液体窒素等の製造、LNGタンクで発生するBOG (ボイルオフガス)を再液化する装置などに有効利用しています。

さらに、丁場間の相互バックアップや、在庫調整を目的としたパ イプラインなどを工場間の送ガス量調整にも活用しています。こ れらを诵じて、各LNGT場の運転効率が全体最適となるような 運用方法の見直しを実施し、さらなるエネルギー使用量の削減を 図っています。



地球温暖化対策に関わる取り組み 詳細はWebサイトをご参照ください。

https://www.tohogas.co.jp/corporate/eco/pdf/2025toho web global-warming.pdf